

人間生活学科人間健康専攻養護教諭コース 教員養成の目標及び計画について

人間生活学科人間健康専攻養護教諭コース教育目標

教師としての使命感や責任感、教育的愛情を理解し、心とからだの健康に関する専門的知識と技術を身につけたうえ、つねに変動する社会に適応できる問題解決能力と指導的立場から健康を支援する実践力を持った養護教諭の養成を教育の目標とする。

別添資料 1 は、人間生活学科人間健康専攻養護教諭コースの「教育目標の達成」と、学んで身につけるべき「学修成果」の関係を 1 年生前期～2 年生後期までの 4 学期の時系列で示すものである。

学修成果は、教育目標を確かに達成するための評価項目として活用される側面を有する。そのため、学生自らが評価しやすいように、教育目標よりも具体的な文言で記される。さらに、それぞれの学修成果の内容を細かく分けて評価指標としてあげる。これらによって、教育目標を達成するのみならず、教員に必要な資質能力を育成することになる。

また、別添資料 2 に示すように学修成果と学修成果をさらに細かい項目にしたものについては、履修カルテ(自己評価表)の中に評価項目としてあげており、1 年生後期、2 年生前期、教職実践演習(養護教諭)受講時に自己評価し、自らの学びをコントロールすることになる。

以上のように、各学期で身につけるべき学修成果を適宜自己評価しながら着実に積み上げることで、教育目標を達成することになる。

湊川短期大学 養護教諭二種免許 教職課程 履修カルテ 〈自己評価シート〉

学生番号：

氏名：

(1) 養護教諭に必要な資質能力についての自己評価

項目	必要な資質能力の指標 指 標	自 己 評 価	
		1年次	2年次
使命感や責任感、 教育的愛情	養護教諭の使命や役割、職務内容、子どもに対する責務を理解しているか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得しているか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	学校教育の社会的・制度的理解に必要な知識を習得しているか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	子どもの成長や健康づくり・安全に配慮して、学校保健活動を推進することができるか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
社会性や対人関係 能力	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができるか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	保護者や地域、医療機関・専門機関などと連携・協力しながら課題に対処できるか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができるか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をこなすことができるか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
子ども理解や保健室 経営など保健管理	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができるか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談にのったりするなど、親しみをもった態度で接することができるか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	子ども理解のために必要な心理・発達論的知識を習得しているか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	迅速かつ適切な救急処置を行うことができるか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	いじめ・不登校・特別支援教育などについて、個々の子どもの特性や状況に応じた対応ができるか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	健康観察・救急処置・健康相談等の関わりにより、子どもの心身の変化や健康課題を見極められるか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
保健指導などの 教育実践力	保健室経営に、保健管理・健康教育・組織活動などを位置づけ実践することができるか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	学習指導要領の内容を理解しているか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	情報機器の活用に係る基礎知識・技術を習得しているか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	子どもの学びに必要な学習理論・知識を習得しているか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	一人ひとりの子どもの健康課題に応じて、個別の保健指導を行うことができるか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	子どもの健康課題に応じた保健指導を計画し、教材研究を行うとともに保健指導案を作成できるか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現技術を身につけているか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	子どもの反応を生かし、集中力を保った授業を行うことができるか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5

(2) 教職を目指す上で課題と考えている事項

[1年次]
[2年次]

幼児教育保育学科 教員養成の目標及び計画について

社会人として求められる礼儀や社会性、仲間とともによりよい幼児教育の実現を目指し、幼児教育者に求められる責任感や使命感、常に自己の可能性を追求するとともに、子どもの可能性を信じ、その成長・発達に向き合い、専門的な知識や技術を活かし、常に時代の変化に対応できる実践力をもった幼稚園教諭の養成を教育目標とする。

資料 1 では、幼児教育保育学科の幼稚園教諭を目指す学生が、学んで身に付ける「学修成果」をカリキュラムごとに 1 年生前期から 2 年生後期で時系列に修得する指標を示した。

資料 2 では、学修成果を学生自身が評価できるように、細かい項目をあげた「履修カルテ」で、1 年次と 2 年次で、保育・教職実践演習（幼稚園）の受講時に自己評価し、自らの学修の成果を確認する。

以上のように、各学期で身に付けるべき学修成果について適宜自己評価を行い、着実に学修成果を積み上げ、教育目標を達成することになる。

幼児教育保育学科 ディプロマポリシー	大きな指標	指標	科目群(※実習関連科目は除く)				
			1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	
社会人としてふさわしい教養を養う	社会人としてふさわしい教養が身につく		総合教育科目				
社会人として求められる礼儀や社会性を身につけ、仲間とともによりよい幼児教育・保育の実現を目指すことができる力をもっていること	1・1	社会人としての一般的な礼儀や社会性を身につける	用具の準備や後片付けができる。	小児体育 I			
	1・2	他者とのコミュニケーション能力や協調性を身につける	取組ごとをおして他者との一体感を感じ、声を合わせる喜び、伝える喜びを得る。 他者の呼吸や心を感じ取り、共に演奏することができる。 誰とも協力し合って活動に取り組むことができる。 仲間一人ひとりの個性を理解し、互いに協力し合いながら活動できる。 他者とのふれあいをとおして思いや気持ちを他者に伝えようとする。 グループで意見を交わしながら創作活動を行う。 他者の意見やアドバイスを耳を傾け、協力しながら課題に取り組む。	音楽 小児体育 I	音楽表現指導法 II 小児体育 II		
幼児教育・保育の職に求められる責任感や使命感をもち、常に自己の可能性を追求するとともに、子どもの可能性を信じ、その成長・発達に向き合うことができる力をもっていること	2・1	保育者に求められる責任感や使命感	保育職や職務の内容、資質について理解する。 幼児の健康は重要と感じ、健康支援を行うことができる。 クラス運営能力をもち、責任感をもって保育にあたる。	保育者論 保育内容健康		保育・教職実践演習(幼稚園) 保育・教職実践演習(幼稚園)	
	2・2	自己の課題をみつめ、それを達成する力	日々の努力を怠らず、根気よく練習を続ける力を身につける。 子どもの造形表現活動に用いる道具・素材の使い方・特性を理解する。 一度で達成できなかったことに、繰り返し挑戦することができる。 自己評価と他者からの評価を比較し、自分の課題を精査することができる。 望ましい保育者像を考え、自分なりの課題に取り組みうとする。 子どもの行動から発達を読み取ることができる。 自己の課題を自覚することが出来る。	保育者論 図画工作 I 小児体育 I	音楽表現指導法 I 音楽表現指導法 II 小児体育 II		
	2・3	保育者としての受容的態度や柔軟性	造形表現において、他者の表現を認め、関わりながら課題を達成することができる。 全て子どもを受け入れる。 教育と相談援助の相関性を知り、教員としての相談技法を体得する。 子どもの状況を読み取り、必要な場面で援助することができる。	図画工作 II 教育心理学 保育内容言葉	教育相談基礎論	保育・教職実践演習(幼稚園) 教育相談基礎論	
	3・1	保育に関する専門的な知識や技能	保育の現場で必要とされるピアノの技術を身につける。		音楽表現指導法 I	音楽表現指導法 II	
			運動遊びに含まれる技能を習得する。 体力や運動技能の発達段階に応じた遊びを考え、実践することができる。 現代保育の課題や動向を知り考察する。 特別支援教育を理解する。 乳幼児期の発達の様相を理解できる。 就学前および義務教育における相談支援スキルを体得する。 幼稚園教育のあり方について理解できる。 5領域を繋げた保育実践の多様性を知る。 乳幼児期における人間関係の発達過程を理解できる。 「領域環境」について理解し、保育内容(教材)と結びつける。 幼児の表現活動を促す声かけや、そのモデルとなるような表現ができる。 「領域表現」について理解し、生活や遊びの中のリズムを保育に取り入れる。 子どもの発達過程を理解し、環境を整え関わるることができる。	保育者論 教育心理学 発達心理学 教育相談基礎論 幼稚園教育課程総論 保育内容総論 保育内容人間関係 保育内容環境 保育内容表現(リズム) I 保育内容表現(リズム) II 保育内容表現(絵画) I	小児体育 I 小児体育 II 発達心理学 教育相談基礎論 保育内容総論 保育内容人間関係 保育内容環境 保育内容表現(リズム) I 保育内容表現(リズム) II 保育内容表現(絵画) I		
	3・2	子どもの姿から保育を計画・創造し、それを実践する力	季節や幼児の心情に合った歌を指導できる。 子どもの様子に合わせた伴奏ができる。 発達に合った教育的 を理解できる。 発達障害の姿を理解する。 指導計画の書き方の基礎を理解し作成力を身につける。 子どもの育ちを5領域の視点から総合的に捉える。 保育課程の編成と指導計画が作成出来る。 幼児の発達に適した保育内容を設定できる。 幼児が理解できるように健康教育を行うことができる。 子どもの気持ちにより添った援助が出来る。 年齢や興味関心等に応じた教材や提示の仕方が工夫できる。 保育の中で課題を設定して実践に取り組むことができる。 幼児の発達や現状に応じた遊びや活動を行うことができる。 年齢や興味関心等に応じた教材や提示の仕方が工夫できる。 子どもの造形表現活動の展開・広がり意識した関わり方ができる。	音楽 音楽表現指導法 I 教育心理学 幼稚園教育課程総論 保育内容総論 保育内容健康 保育内容環境 保育内容言葉 保育内容表現(リズム) I 保育内容表現(リズム) II 保育内容表現(絵画) II	音楽表現指導法 I 音楽表現指導法 II 発達心理学		
子どもの体力や運動技能の特徴を理解しようとする。 現代の子ども体力や運動技能の発達について理解し、運動時に起こりうる事故を予測できる。 生きる力を育てる教育を理解できる。 現代の子ども像を理解する。 就学前と義務教育における緩やかな接続に関する手法を体得する。 幼稚園教育要領の変遷を理解し、保育のあり方を考えようとする。 幼稚園教育要領の変遷を理解し、保育のあり方を考えようとする。 時代背景に沿って変化する保育内容健康を理解する。 障害児施策の現状を知り、これからの課題を感じ取る。			小児体育 I 教育心理学 発達心理学 教育相談基礎論 幼稚園教育課程総論 保育内容健康 障害児保育	小児体育 II 発達心理学 教育相談基礎論 保育内容総論			
3・3	時代の変化に対応し、学びつつけようとする自己教育力						

教員に求められる資質能力に関する自己評価	評価項目	1年後期	2年後期
		教職の意義や幼稚園教諭の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	幼児教育の社会的な役割や制度について理解していますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	幼児理解のために必要な心身の発達に関する基礎理論・知識を習得していますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	集団保育、個々の幼児の特性(障がいを含む)や状況(家庭事情を含む)に応じた対応の方法を理解していますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	他者と共同して保育を創造し、展開することができますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	幼児の発達段階を考慮して、適切に接することができますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	気軽に幼児と顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	幼児の声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	これまで履修した幼児教育分野の科目の内容について理解していますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	教科書や幼稚園教育要領(解説も含む)の内容を理解していますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	「遊びを通しての総合的な指導」に係る内容や方法に関する基礎理論・知識を習得していますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	「環境を通しての保育」に係る基礎理論・知識を習得していますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	教材の意味とその活用の可能性について理解していますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	教材研究を生かした保育の展開を創造し、子どもとの相互のやりとりを想定した指導計画としてまとめることができますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	幼児の実態に応じた教材を開発・作成することができますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	幼児の思いや考えを受けとめ、それらを活かしながら保育を展開することができますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	保育を行う上での基本的な表現の技術を身につけていますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	幼児教育に関する動向や新たな課題に関心をもち、自分なりに意見を持つことができますか。	いいえ(1・2・3・4・5)はい	いいえ(1・2・3・4・5)はい
	現時点で、今後の課題と考えることは何でしょうか。自由に書いて下さい。		